

外国人人材育成システムの構築



国際文化学部
日本文化学科
教授
酒井 順一郎

研究シーズの紹介

3年前から外国人人材育成に着目し研究をしてきました。特にベトナム人技能実習生に関しては、現地と日本国内の非実務実習（日本語・社会・文化教育）の実態を調査・分析し、この教育内容にどのような課題があるのかを明らかにしました。実は、日本語や異文化適応能力以外にも、日本人社員への研修も重要です。そして、この非実務実習は、技能実習生以外の外国人人材育成にもヒントとなり、深い関連があります。

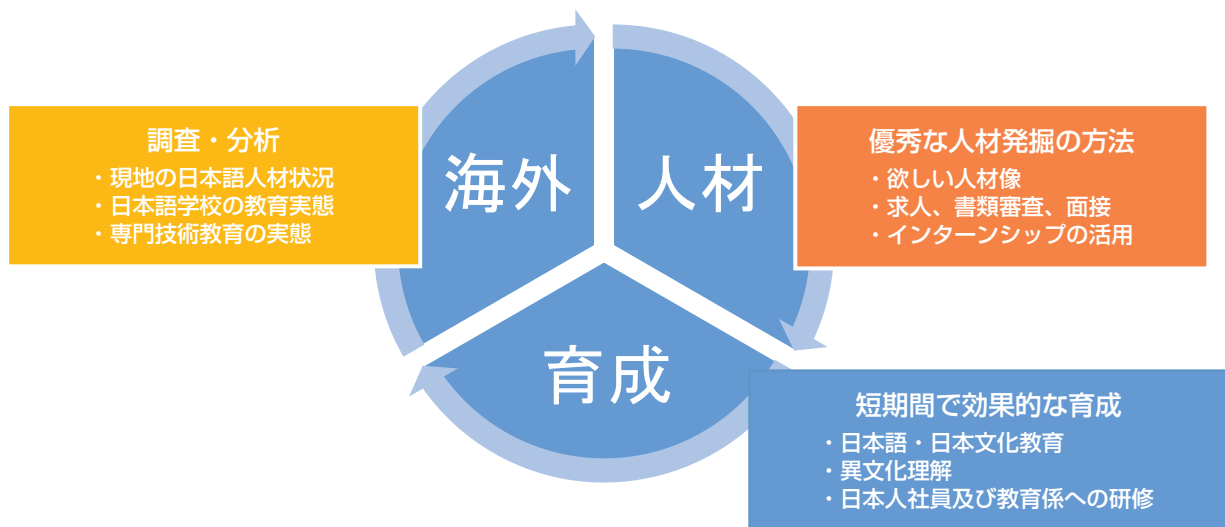
いかに短期間で育成し、外国人人材が気持ちよく活躍していただくことで、会社も発展していきます。採用したい人材像を明確にし単なる労働力の補填ではなく会社活性化のためにも外国人人材は重要なプレイヤーとなります。

外国人人材の採用を予定されている皆様、既に雇用されている皆様等、現地の日本語人材状況の調査から人材発掘・育成方法までサポートいたします。



外国人人材の採用と育成

- 欲しい人材像を明確にし、戦力化する人材育成方法が可能です。
- 受け入れるための日本人社員に対する研修ができます。



期待される活用シーン

- 優秀な外国人人材かどうか知りたい。
- 外国人人材の育成の方法を知りたい。



- ・ 欲しい人材を可視化し、その人材の優秀さがわかる書類選考及び面接の方法を考えます。
- ・ 明確なキャリアパスの作成、日本で成功するための日本語能力、日本文化及び異文化理解等の育成方法を考えます。

- 日本人社員及び外国人人材の教育係の研修をしたい



- ・ 外国人人材に誤解されない日本語の使い方、指示の出し方、接し方、指導法、さらに異文化間の仕事観の差等を研修します。

その他の研究テーマ

- 近代以降の日本語人材育成に関する研究
- 日本語・日本文化普及のための文化ネットワークに関する研究
- 外国人から見た日本観に関する研究